

<第1回 利益相反管理委員会(2017年7月28日開催)>

報告・審議テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 利益相反管理態勢の高度化の状況等 ✓ フィデューシャリー・デューティーの高度化、お客さま本位の業務運営への取組状況等
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 利益相反管理態勢の実効性・妥当性の検証、フィデューシャリー・デューティーの浸透・実践の監督という諮問事項に関する議論に加え、中長期的かつグローバルな目線での議論も進めたい ✓ 管理態勢の評価にあたっては、その「目線」を確りと議論することが必要 ✓ 監査委員会等の「3線」や他の委員会との連携を密にすべき
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中長期テーマ等の検討の受皿として、分科会、PT(執行側)を設置・活動

<第2回 利益相反管理委員会(2017年11月29日開催)>

報告・審議テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 利益相反管理態勢の評価の目線について
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 評価の目線としての大きな考え方は、「実効性・妥当性の確保・向上」「環境変化や戦略変化に応じた動的管理態勢となっているか」「見える化(説明責任)」の視点に加え、他金融機関や諸外国との比較が考えられる ✓ 利益相反管理の弊害の可能性の大小等に応じて、管理手法の加重等を検討すべき ✓ 課題として、「KRI(Key Risk Indicator)」の設定も検討してはどうか ✓ 業態やビジネスの違いも踏まえ、高度化を進めていくことが重要

報告・審議テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ フィデューシャリー・デューティーの取り組みに関するグループ各社の取り組みのモニタリング内容
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ フィデューシャリー・デューティーの浸透・定着については、どの金融機関とも悩んでおり試行錯誤の段階にあると思われる。当グループの取り組み等は一定の評価が出来ると思うが、更に工夫を続けて欲しい ✓ KPIについて、取り組みの結果がお客さまの投資行動にどのような好ましい影響を与えたかの視点が必要

報告・審議テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中長期テーマに関する対応について
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信託業務に関する各種のリスク管理を中心に、フォワードルッキングな視点で検討を進める方向は妥当 ✓ それらと視点の異なる民事信託を含め、議論・検討を進め、信託の将来を考えてほしい
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ✓ PTに民事信託に関するワーキンググループを追加

報告・審議テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 運用会社の経営陣に関する留意事項について
----------	--

主な審議内容	<ul style="list-style-type: none">✓ 販売会社等からの独立性、経営陣の運用業務に関する知見・見識・経験は当然重要だが、グループガバナンス全体としても丁寧に考えていく必要がある✓ 経営陣の知見・見識等以外に「インセンティブ」についても海外事例等のリサーチをしてはどうか
--------	---

以上